

お客様を第一に考え、
心を込めて塗装するのが
良い職人の条件。

 いがらし たかひさ
五十嵐 貴久
職人歴 19年以上 / 施工棟数 570棟以上
<2019年現在>

感謝の想いを刷毛に乗せ、全身全霊で塗り上げる。

全てはお客様に満足いただくために。
細やかな心くばりが行き渡る塗装工事。

お客様にとって、住まいは一生の宝物。それを塗装で守るという大役を任せられたからには、職人にはただ綺麗に仕上げるだけでなく、細部まで気遣いを行き届かせて、絶対にお客様に満足していただく使命があると考えています。

例えば工事中には「換気したいところはないか」「塗料の臭いは気にならないか」などとお客様やご近隣の方にこまめにお聞きして、なるべくストレスを感じずに過ごしていただけるよう配慮しています。

ただ塗るだけにとどまらない、真心を込めた塗装工事をご提供します。安心してお任せください。

こだわり 道具 状況に応じ様々な刷毛を使用

展示会やメーカーに相談して厳選してきた20本以上の刷毛を、細かい部分を塗るときはこれ、仕上がりを微調整するときはこれ、というように状況に応じて使い分けながら塗装していきます。



全ては、美しい仕上がりを
お客様に届けるために。

徹底的なこだわりが光る塗装工事。



施工 お客様のことを第一に考える

洗浄

ただ汚れを洗い流すだけではなく、インターホンなどの電気系統に影響が及ばないよう気を付けたり、通行人に飛散しないよう水の角度や方向を調整するなど、細部まで配慮を行き渡させて洗浄していきます。

下地補修

塗装工事は化粧と同じで、下地の状態が良くなれば最後の仕上がりにも大きく影響してしまいます。住まいの状態に合わせて、的確かつ慎重に補修していきます。

養生

非常に細かい部分ですが、塗装しない箇所に貼る養生テープの位置の微調整にこそ、職人のセンスの良し悪しが表れると思っています。長年の経験と勘で、最も見栄えがよくなる位置を探して養生していきます。

下塗り

劣化が進んだ屋根などは一度塗っただけでは塗料を吸い込んでしまい十分な厚さを確保できないので、必ず二回塗ることを心がけています。

中塗り・上塗り

ローラーの跡がつきやすい平滑なサイディングの塗装こそ、職人の腕の見せ所です。細かな力の入れ具合やローラーを動かす方向などにとことんこだわり、鏡のように綺麗な仕上がりを実現します。



五十嵐 貴久 プロフィール

- | | | | |
|--------|-------------|---------------|---------|
| ■ 生年月日 | 1982年2月2日 | ■ 保有資格 | 一級塗装技能士 |
| ■ 出身 | 神奈川県小田原市 | 職長・安全衛生責任者 | |
| ■ 性格 | 好奇心旺盛 | 窓業サイディング塗替診断士 | |
| ■ 趣味 | スケートボード、バイク | | |